



夢に向かって



学校教育目標 【郷土に誇りを持ち、未来を拓く心豊かな子どもの育成】

合志市立合志南小学校
学校だより 第10号
令和8年1月13日
文責 校長 土井昭子

後期 後半スタート

後半スタート

今年もよろしく
お願ひします



雪が薄ら積もる日もあり、寒いお正月でした。2026年の年明けはいかがでしたか。初日の出を拝んだり、初詣に行ったり、おせちを食べたり、ご家族でお正月を楽しましたことだと思います。

1月8日(木)後期後半開始の朝、子どもたちが「おはようございます。」や、「明けましておめでとうございます。」「今年もよろしくお願ひします。」とあいさつをしてくれました。実は、年末年始熱を出してしまい、どこにも行けず寂しい思いをしていたのですが、久しぶりに子どもたちに会って元気をもらいました。正門で「校長先生じゃんけんしよう。」と声をかけてくれました。今年最初のじゃんけん!結果は私の負け。残念!また、お年玉のことをこっそり教えてくれた子どももいました。子どもたちの表情が生き生きしていて、よい年越しだったことが伝わってきました。

(冬休み明け集会:校長の話) 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。朝、たくさんの人と会いましたが、挨拶がとても上手でした。この調子で、挨拶あふれる、笑顔あふれる合志南小でいきましょう。さて、2026年がスタートしました。皆さんお家で、おせち料理、お年玉、お餅など、お正月の行事にふれながら、よい新年を迎えたことだと思います。

学校も後期後半が始まりました。慌てず、落ち着いて、ゆっくりスタートしたいと思うのですが、1月、2月、3月はあっという間に過ぎてしまいます。悔いのないように、今の学年を終えてほしいと思います。そのためには「感謝」が大事です。今があるのは、クラスの全ての友だち、先生たちがいたからです。「今までありがとう。」という気持ちをもって、「これからもよろしく。」と残り3ヶ月を過ごしていきましょう。

特に6年生はもうすぐ小学校を卒立って、中学生になります。「立つ鳥跡を濁さず」です。後輩たちに頼れる姿を残してほしいと思います。期待しています。

みんなが笑顔で終わることができるよう、一緒に頑張りましょう。

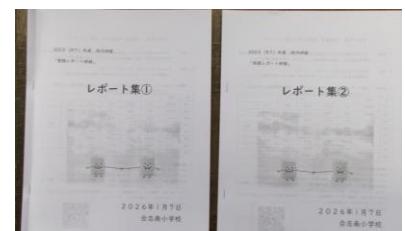
冬休みの職員室 ~私たち職員も笑顔で新年を迎えました~

1月5日が仕事始めでした。6日には、学年や担当で後期後半に向けて会議が行われていました。7日は全職員で人権教育に関する研修と、性教育に関する研修を行いました。人権教育に関する研修では「いじめや差別のない」学校(仲間集団)にするために取り組んだことを出し合いました。今後も、取組を重ねていくことを確認しました。性教育では、性の捉え方や現代社会の課題等の研修を行い、各学年で授業づくりに取り組みました。

子どもたちの登校を楽しみにしながら、後期スタートに向けて着々と準備をしていました。

コップの水 ~いじめに関する研修にて~

(研修資料の一部) いじめられることで、耐えきれなくなった気持ちが心のコップにたまっていく。最後の一滴であふれ出した心は、最悪の事態をまねいてしまう。あなたの一言が最後の一滴になることも…。 いじめのニュースを聞く度に、怒りや空しさなど何とも言えない心境になります。言葉には責任を持ち、心を込めなければと改めて思いました。



人権教育レポート集

ゴミ一つない 合志南小

冬休み明け敷地内を回っていると、ゴミが一つも落ちていませんでした。子どもたちや地域の方々、学童の皆さん、それぞれがきれいに使ってくださっているおかげです。きれいな環境で新年を迎えることができました。ありがとうございます。今後ともご協力をお願いします。